

令和8年度第2回伊勢市ふるさと未来づくり推進委員会 会議録

〔日 時〕 令和8年8月3日（月）午後1時30分～3時00分

〔場 所〕 伊勢市役所 東館5階 5－3会議室

〔出席委員〕 池山 敦 氏（皇學館大学）  
岩崎 恭典 氏（四日市大学）  
森井 美恵 氏（伊勢商工会議所）  
竹澤 尚美 氏（伊勢市社会福祉協議会）  
浦田 宗昭 氏（いせ市民活動センター）

○事務局

環境生活部 参事  
市民交流課 課長  
市民交流課 地域自治推進係 係長  
市民交流課 地域自治推進係 主査

1. あいさつ

委員長よりあいさつ。

2. 令和7年度まちづくり協議会の活動報告

事務局が「令和7年度まちづくり協議会の活動報告」と「令和7年度伊勢市の取組実績」について説明した。

（委員）ある地区の高齢者の買い物支援は事業所から車両を借りて行ったが、使用にあたり事業所とどのような調整を行ったのか。

⇒（事務局）事業者が使用しない時間帯に車両を借りたと聞いている。

（委員）令和8年春にお木曳行事があり、地域は忙しかったと思うが、まちづくり協議会の活動との調整はどのようにしていたか。

⇒（事務局）ある地区では、事務局長がお木曳行事の団長を務めており多忙であったことから、まちづくり協議会の事務局内で業務分担の変更を行ったと聞いている。

（委員）まちづくり協議会の行事に限ったことではないが、近年暑い日が多くなっており、安全面からも暑い時期に屋外で行事を実施することは避けたほうがよいのではないかと感じている。

（委員）ある地区では災害対応給水デモを行ったとあるがどのような取組であるか。

⇒（事務局）小学校で開催された「避難所運営訓練及び災害用給水デモ」イベントに市の上下水道部が参加し、給水車から給水バッグに水を入れる体験を行ったと聞いている。

⇒（委員）熊本地震もあり地域の関心も高いと思われるため、まちづくり協議会の取組発

表会で共有してはどうか。

(委員) ある地区の災害トイレプロジェクトについて教えてほしい。

⇒(事務局) 災害発生時の備えとして非常用トイレの貸し出しを行い、それ通じて地域の防災意識の向上を図ることを目的として実施していると聞いている。

### 3. 令和8年度まちづくり協議会の運営・取組状況

事務局が「令和8年度まちづくり協議会の運営・取組状況」と「令和8年度伊勢市の取組状況」について説明した。

(委員) ある地区の「まちづくりを考える集い」は、若い人の意見を取り入れるためにPTAが主体となって実施し、実際に意見を取り入れて実践も行ったと聞いている。

(委員) まちづくり協議会の重点活動方針「(2) 計画的な事業実施・整理」と記載されていることもあり、市からも地区まちづくり計画の改正や見直しなどをさらに促してはどうか。

⇒(委員) まちづくり協議会が設立されてからの10年間で、社会情勢が大きく変化した。自分たちだけで計画の見直しをすべて行うのは負担が大きいため、支援も必要ではないかと考えている。

⇒(委員) 今年度から来年度にかけてはお木曳行事などがあり地域の負担も大きく、計画の見直しは難しいことも想定されるため、その間は課題など情報の蓄積を行ってはどうか。

### 4. 令和9年度臨時特例事業の審査について

事務局が「令和9年度臨時特例事業の審査」について説明した。

(委員) 備品購入が主目的とならないよう明確な基準を設けるために、備品購入費が全体経費の3割以下となるように定めてはどうかと口頭説明があったが、事業のスタートアップという観点で考えると、初年度は導入経費が大きくなると思われるため、基準を3割以下とするのは厳しいのではないか。

⇒(委員) 事業の主目的に該当するかどうかは過半数を基準に判断し、5割以下の場合は主目的ではないとするのが適切ではないか。

(委員) 視察にかかる経費は対象外とのことであるが、視察そのものを目的とした事業は不可としながらも事業実施の参考とするための視察については対象としてよいのではないか。

⇒(事務局) 視察を行うことで地域に還元できる場合は対象とするように募集要領への記載を検討したい。

(委員) 防災は日常生活に密接に関わっていることから、同じ訓練を繰り返し実施することにも意味があると思う。繰り返し実施することは経常事業であると考えられることから通常経費で賄うこととし、事業のアップデートにかかる部分のみ臨時特例事業を活用してはどうかと考えるが、切り分けて考えるのが難しいというのであれば、本事業名称の「臨時」特例事業も変更してはどうかと考える。